

令和7年度第1回やない市民活動センター評価委員会（要点筆記）

日 時：令和7年8月19日（火）午後3時から午後4時30分まで

場 所：みどりが丘図書館 スタジオ2

出席者：評価委員：弘田委員長、大野副委員長、川嶋委員、木本委員、三戸委員、吉光委員
高崎委員、桧垣委員【新】

事務局：藤村部長、守田センター長（地域づくり推進課長）、浅原課長補佐、
宮本主幹

相談員：城、浅海 佃

1 開会（午後3時05分）

令和7年度第1回やない市民活動センター評価委員会の開会

・藤村部長あいさつ

本年度より総合政策部長となった。多くのご意見をよろしくお願ひしたい。

2 評価委員紹介

*名簿の順に自己紹介で行った。

3 やない市民活動センター評価委員会について

*設置要綱に従って事務局が説明

4 委員長・副委員長の選出について

・（委員長）前副委員長の犬野氏より弘田氏にお願いしたい旨の発言あり。→了承

・（副委員長）弘田新委員長より犬野氏にお願いしたい旨の発言あり。→了承

*柳井市行政改革委員の推薦について、昨年度と同じく吉光委員に委任された。

5 議事（委員長の進行による）

（1）令和7年度やない市民活動センター運営状況報告について

事務局から資料p2～p3について説明

*新規登録団体については資料に掲載されているもの以外に、現在5つの団体の登録申し込みがある旨を補足。

【質疑等】

- ・【委員】交流テーブルの人数が少ないのでは。→工夫をしていきたい。【事務局】スタジオ2の利用が難しくなっている状況があり、スタジオ3や文福を使用する場合もあるが、市民へのアピールや団体間の交流を促進していきたい。
- ・【委員】お盆のポスター展示の状況はいかがであったか。→【事務局】帰省による来館者の目に留まる効果があった。←【委員長】13・14は出にくい日ではないか。【委員】玄関先にポスター展の掲示があるとよかったのでは。
- ・【委員】退会団体の退会理由は何か→【事務局】活動の停止によるものが多い。退会したのち別の名称で再登録したケースもある。

(2) 令和7年度やない市民活動センターの活動について

事務局から資料p3～について説明

(3) やない市民活動センター年間行事計画について

事務局から資料p5～について説明

6 その他

◆センター利用案内の改訂について

*センター運営要綱や新利用案内を資料として事務局が説明。

- ・主に休館日の変更について

◆最後に一人一言ずつ発言いただきたい旨、委員長より提案あり。

- ・【委員】フェスタの企画検討会議への参加で、協力していきたい。
- ・【委員】フェスタの参加状況は。→【事務局】20件程度である。
- ・【委員】次回講座の「インターネットサービス」という表現がピンとこない。より具体的な講座内容を示したほうが良い。【委員長】高齢者に対しては分かりにくいのではないか。【委員】申し込む人のレベルが違うので、募集の仕方が難しい。【委員】利用団体から講座の内容について希望を出し

てもらったらよいのでは。【委員】高齢者をターゲットにした講座も開設してほしい。→【事務局】検討していきたい。

- ・【委員】設置要綱にある活動団体の意見の聴取についてどのような機会に行っているか。→【事務局】フェスタの説明会を設けたことや、反省会をもつことができるとよい。
- ・【委員長】評価委員会は、決まったことに関して評価をするのであるから、センターに要望を出すのではなく、(活動する者が)自分たちが自主的に団体を作るなり、連携をするなりして活動をすればよい。センターは活動を指導するものではない。団体の活動を支援するのがセンターの役目であるという認識だが、それでよいか。→【センター長】社会課題の解決に向けたボランティア活動を支援するのがセンターの役割であり、活動を依頼するのではない。
- ・【委員長】市民活動センターの運営については、柔軟性をもって行っていただきたい。また、要望等についてはいったん受け止めてほしい。また、活動団体側も、長期間のポスター展示がやりたいのであれば、センターに依頼するのではなく、自分たちで計画して提案すればよい。→【センター長】やりたい企画があれば相談いただいて、協議しながら実現を図りたい。
- ・【委員長】評価委員としては要望を出すのではなく、そのような活動に対して評価をするという立ち位置で間違いないか。→【センター長】一般的にはそうである。
- ・【委員長】フェスタの参加状況については、現在 20 団体程度ということで、初めの時よりは減っているが、いろいろな制約もあろうから、仕方のない部分もある。自分としては、不自由なく使わせてもらっているので、困ってはいないが、みんなの意見を集めて、ここでお伝えするということがよいのか。→【総合政策部長】このみどりが丘図書館でどのようなことができるのかということについては、団体、図書館、センターで話し合って、可能な限り納得解を模索したい。→【委員長】第 1 回の説明会における質問については回答もいただいているし、計画もすっきりわかりやすく示されている。みどりが丘図書館でやりにくい場合は、各団体が文化福社会館などの外で活動することも考えられる。ポスター展でもみどりが丘図書館では無理だということであれば、他の場所で開催することも考えられる。計画には、収まりきれない要望もあるが、そういったものにどのように対応するのかは疑問に思っている。
- ・【委員】今回の計画では、ポスターの展示が 2 日しかできないことになるが、フェスタへの来場者以外にも市民活動を周知するというのも目的ではないのか。昨年度はギャラリーが使えてよかったが、それでも 1 週間程度で短い印象だった。ギャラリーの使用の基準についてもはっきりしない。

◆センター利用案内の変更について

*改訂した利用案内をもとに【事務局】から説明【主に開館日の変更について】

- ◆【委員】市民活動センターの第2回が若者向けであるとの話があったが、その意図はなにか→【事務局】
若者へ活動のすそ野を広げたいという意図がある。
- ◆【委員】資料を読んできたが、旧センターのときより利用人数等が減っているのが気になる。また、現在のみどりが丘図書館において受付での相談がしにくいという実状がある（声が響く、プライバシーの問題等）。また、受付に相談員が少ないことが多いという話も聞くが、スタジオ1に受付を構えれば、作業室での仕事もできるし、相談も受けられるので、効率的な使用となるのではないか。スタジオ1が臨機応変に使えば、10日、20日という市民活動の日もいらなくなるのではないかと思う。1年たって、どのように利用するかを考える機会ではないか。検討していただきたい。→【センター長】聞かれて困るような相談があればセンターの方でスタジオを確保して対応させていただく。時間の調整もこちらでさせていただく。スタジオ1の使い方については、今のところ変更する予定はないが、そのような要望があることについてはセンター内でも全職員で共有し、どのような対応が良いかについては検討したい。【事務局】利用件数の減少については、旧センターと現在とでカウントの取り方に違いがあり、単純な比較が難しく、今後は統一した方法で数字を出していく予定である。交流テーブルについては今後やり方について考えていかななくてはならないと思っている。
- ◆【委員】ふらっと来て情報収集をしたり、話を聞いたりすることがこれまでも役立ってきた。そのような使い方が望まれているのではないかと思う。今のカウンターでは、スタジオの利用者が後ろで手続きを待っていたりすると話ができなくなる。相談員が2名体制なので、2名のシフトについても検討していただきたい。市長は館内全体を「空いていれば」市民活動に使ってよいと言っていたので、作業がなければスタジオ1も使えるようにして、相談員の補填についても考えてもらえるとよい。
- ◆【委員】スタジオ2, 3は西日が当たると暑い。カーテンの設置等改善していただきたい。

閉会（午後4時30分）